

経営比較分析表（令和元年度決算）

岡山県和気町 和気輪銅谷温泉

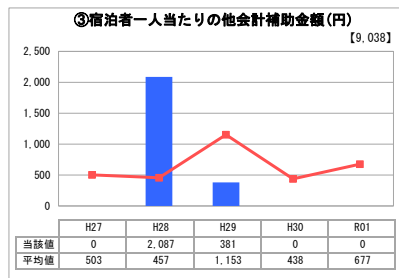
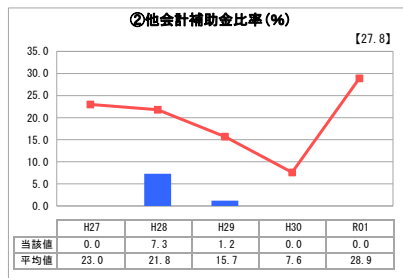
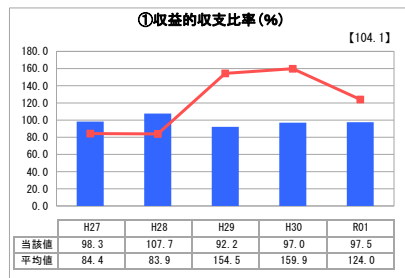
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
該当数値なし	該当数値なし	6,488	115	

客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
8,635	導入なし	30.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

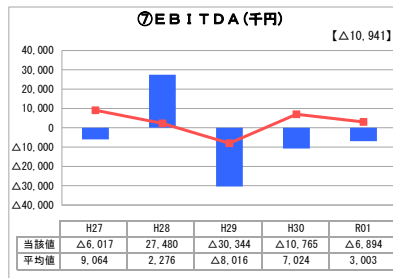
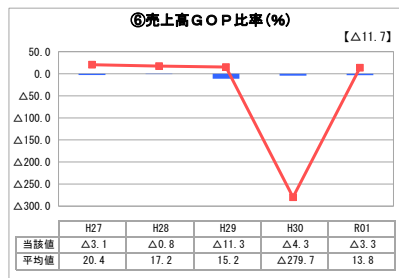
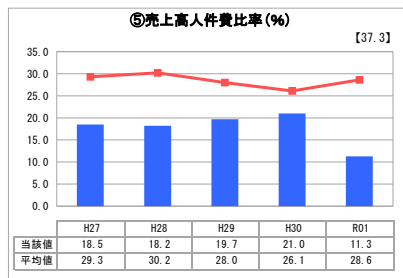
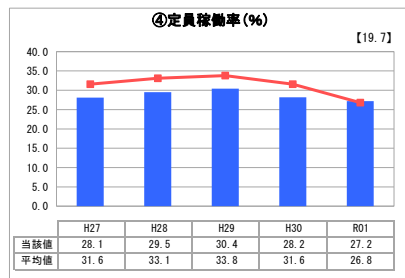
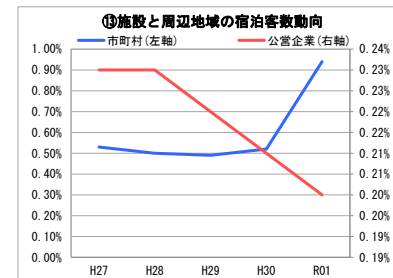
グラフ凡例

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

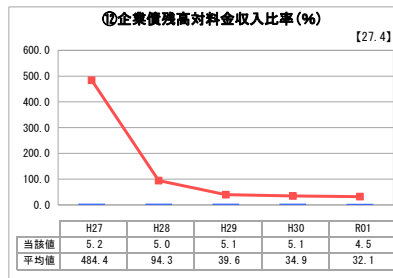


⑩施設の資産価値 (千円)

1,834,560

⑪設備投資見込額 (千円)

130,000



分析欄

1. 収益等の状況について
 収益等の状況が昨年よりやや増加しているのは、利用数が増えているが、料金改定により客単価の増加である。年度終盤には、新型コロナウイルスの影響により、キャンセルが相次ぎ、収支状況に多大な影響を及ぼした。引き続き厳しい経営状況であることには変わりはないが、サービスの低下にならないよう、収支のバランスを追求し健全運営を目指す。

2. 資産等の状況について
 築25年が経過し、修繕に関する支出は増加傾向にある。お客様の利用形態は時代により急激に変化していることから、施設の大規模改修の検討をしているが、莫大な費用がかかるため補助金等を有効活用し、利用者により良い環境を提供できるよう努めたい。

3. 利用の状況について
 利用者数は近年横ばいであったが、ふるさと納税等の事業において宿泊プランを提供したことにより、かなりの利用があった。料金改定により単価が増加したことにより、客室アメニティーの充実を図り、更にお客様のニーズにあった商品の提供を行った。引き続き研究していく。

全体総括
 令和元年度においては、良好な年間収支で考えていたが、新型コロナウイルスの影響が年度後半にあり激減した。宿泊・温泉等の利用料を見直しを行い、お客様の満足度を上昇させる対応を行ってきた。コロナ禍であるが、施設内各部門での収支を研究し、更なる経営改善を図り成果を上げる。